



どう解決する？ 子育てしながら働く 女子の困りごと

県によりますと、平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童数は 516 人で、前年同期比 134 人増加となりました。4 年連続の増加です。待機児童が発生している市町村は 19 市町村 (H28:14 市町村) で、そのうち、つくば市と水戸市で待機児童数の約 44% を占めています。待機児童のうち 92% が 0～2 歳児であり、女性の就労意欲の高さがうかがえます。

当窓口にも、育休中の先生方から保育園に入れなかった場合の対策を教えて欲しいという相談が増えています。ご相談者の先生には、お住まいと勤務先市町村の子育て支援担当課や民間等の多様な子育て支援と連携して、相談者である先生ご自身の仕事や生活スタイルに合った内容の情報をご提供しています。

例えば、職場に両立支援相談窓口を設置して市町村と連携すると、相談者が多様な支援を円滑に利用できるようになり子育てや介護を理由とする離職の防止に役立ちます。

※参考:

子ども・子育て新制度利用者支援(右図)

(待機児童数内訳)

つくば市 114 人▽水戸市 113 人▽牛久市 45 人▽阿見町 43 人▽古河市 38 人▽ひたちなか市、神栖市、つくばみらい市 29 人▽下妻市 15 人▽取手市 13 人▽土浦市 10 人▽常陸太田市 9 人▽那珂市、東海村 6 人▽筑西市 5 人▽桜川市 4 人▽常総市、境町 3 人▽稲敷市 2 人

(県統計資料より)

●利用者支援

子育てに関する悩みや困りごとを解決するためのお手伝いをします。

- 子育てで家庭や妊産婦の困りごと等に合わせて、幼稚園・保育所などの施設や、地域の子育て支援事業などから必要な支援を選択して利用できるように、情報の提供や支援の紹介を行います。
- 地域子育て支援拠点や行政窓口その他の場所で、利用者支援専門員が対応します。
- 子育て支援などの関係機関とのネットワークを構築し、地域の課題に応じて、必要な子育て支援事業や活動の開発をすすめ、子育てしやすい地域づくりを行います。



詳しくはホームページで [すくすくジャパン](http://www.ibaraki.med.or.jp/women/)

検索

ご相談・お問い合わせはこちらから

女性医師就業支援相談窓口ホームページ

<http://www.ibaraki.med.or.jp/women/>

茨城県医師会 女性医師就業支援相談窓口

☎ 029-241-7467

📠 0120-107-467

☎ 029-241-7468

✉ i-dr.support@au.wakwak.com

